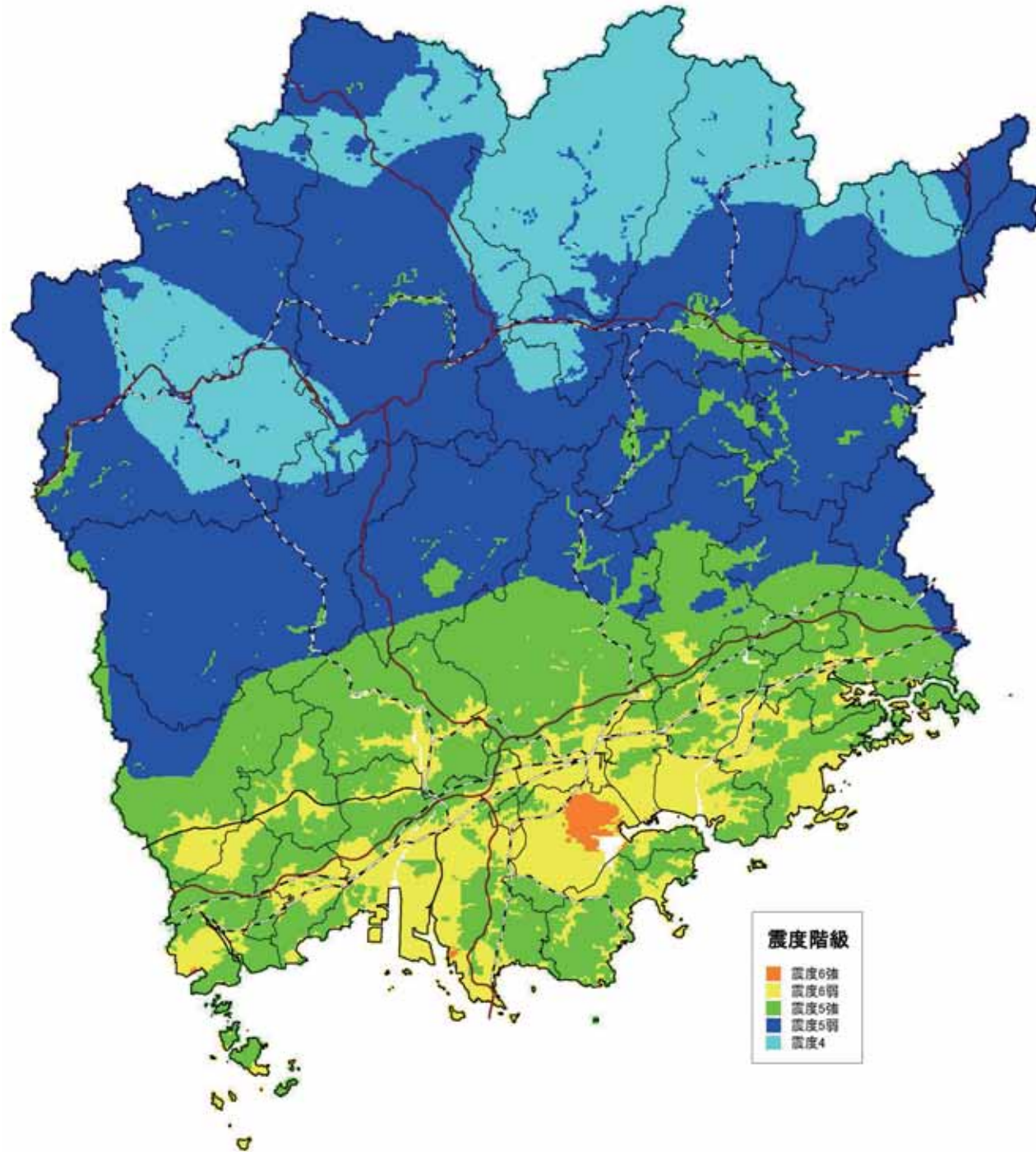


岡山県の災害リスクを知る

<揺れなど>

【南海トラフ地震】

●岡山県の想定最大震度



今後30年以内に、マグニチュード8～9クラスの規模の南海トラフ地震が、約70～80%の確率で発生すると言われています。岡山県は、国が検討したマグニチュード9クラスの南海トラフ地震の発生モデルケースを基に、県内の震度が最大になる条件で被害想定を行いました。(平成25年7月公表)

岡山市・倉敷市・笠岡市で最大震度6強、他の地域でも県南部を中心に広い範囲で震度5強以上の強い揺れが想定されています。

早島町の災害リスクを知る

<揺れなど>

【南海トラフ地震】

●早島町の想定最大震度

南海トラフ地震が発生した場合、早島町では主に南部の低地で最大震度6弱、北部の丘陵地などで震度5強が想定されています。



岡山県危機管理課作成

●早島町の被害

岡山県は、南海トラフ地震による県内の被害想定をとりまとめ、公表しています。その報告書によると、早島町では、最大震度6弱の強い揺れにより、大きな被害が発生すると想定されています。また、水道や電力等のライフラインにも大きな被害が発生し、町内のライフラインの復旧には長いもので1週間以上要することが想定されています。

□主な被害(県内・町内)

	岡 山 県	うち早島町
建物の全壊・焼失	30,974棟	71棟
死 者	3,111人	1人
負傷者	11,745人	43人
避難者	342,177人	722人

※建物の全壊・焼失、避難者は冬18時、死者・負傷者は冬深夜に発災した場合の想定

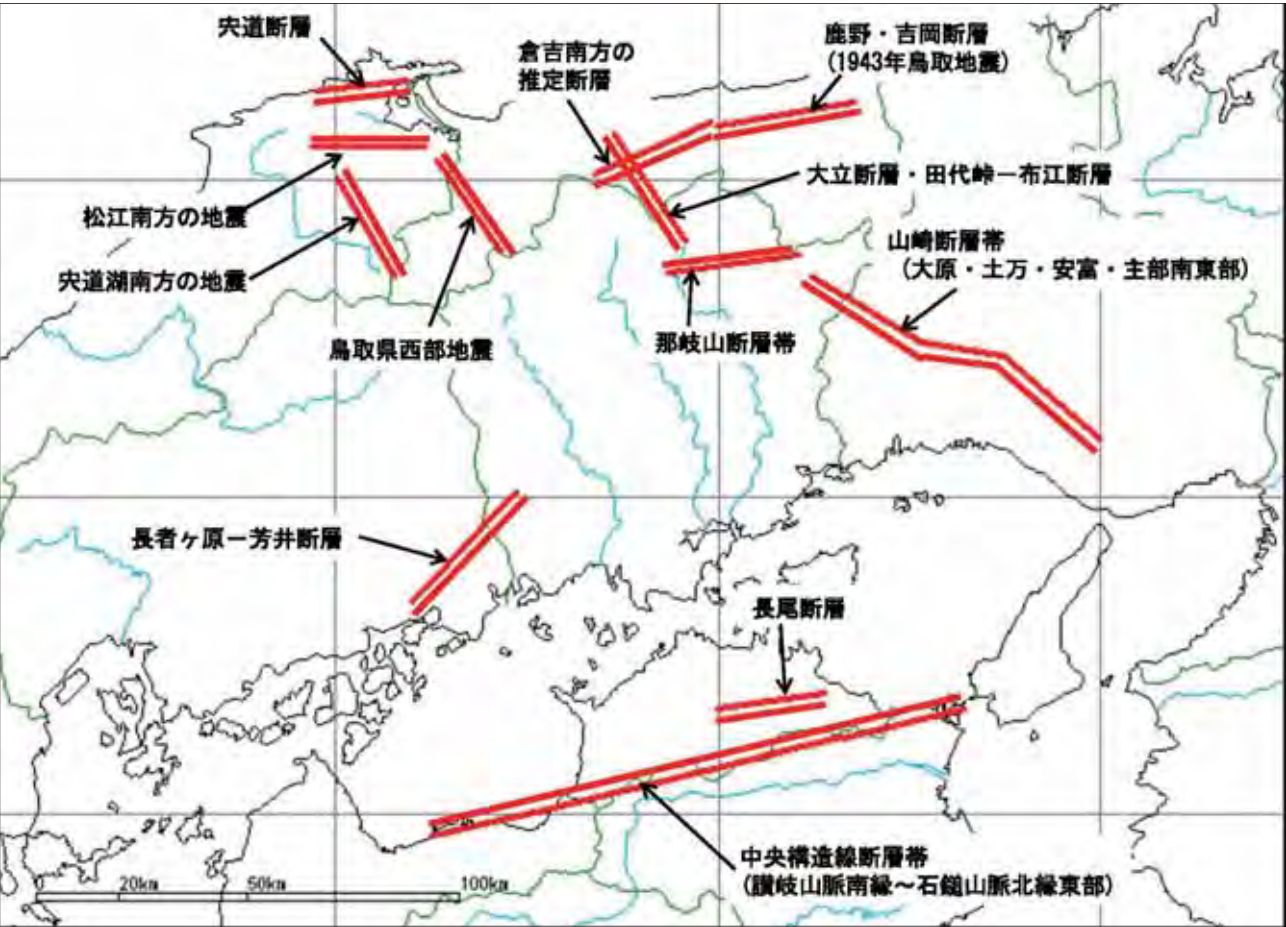
□ライフライン被害(県内・町内)

	直 後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後
上水道断水率(町内)	57.0%	30.4%	16.4%	0%
下水道支障率(町内)	100%	100%	100%	0%
停 電 率(町内)	100%	1.1%	0%	0%
通信不通率(県内)	77.9%	1.9%	1.0%	0%

※上水道を優先復旧するため、下水道の復旧が遅れる想定となっている

【断層型地震】

●岡山県周辺の活断層



県内に被害をもたらす地震は、南海トラフ地震だけではなくありません。南海トラフ地震で強い揺れが見込まれなかった県北部地域などでも、大きな被害をもたらす可能性がある断層型地震のリスクがあります。（熊本地震も発生確率が低いと認識されていました。）

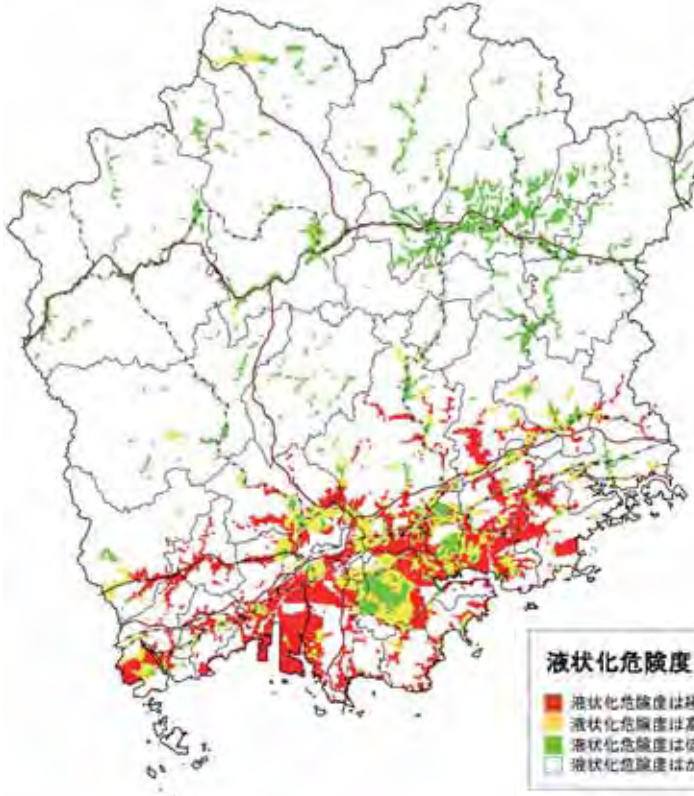
岡山県では、県周辺の活断層を震源とする地震のうち、県内で震度6弱以上の強い揺れが発生し、大きな被害が生じるおそれのある7つの地震について、被害想定を行っています。（平成26年5月公表）

●断層型地震の想定被害

断層名	マグニチュード	県内最大震度	主な市町村	建物全壊(棟)	死者数(人)	最大避難者(人)
長者ヶ原-芳井断層	7.4	6強	倉敷市・笠岡市	856	40	21,672
山崎断層帯	8.0	6強	美作市・奈義町	604	33	5,680
大立断層・田代峠-布江断層	7.2	6強	真庭市・鏡野町	340	20	3,868
那岐山断層帯	7.6	6強	津山市・鏡野町・奈義町	209	12	2,078
倉吉南方の推定断層	7.2	6強	真庭市	113	6	1,442
中央構造線断層帯	8.0	6弱	岡山市・倉敷市・笠岡市	291	5	11,018
鳥取県西部地震	7.3	6強	新見市・真庭市	17	0	150

【液状化】

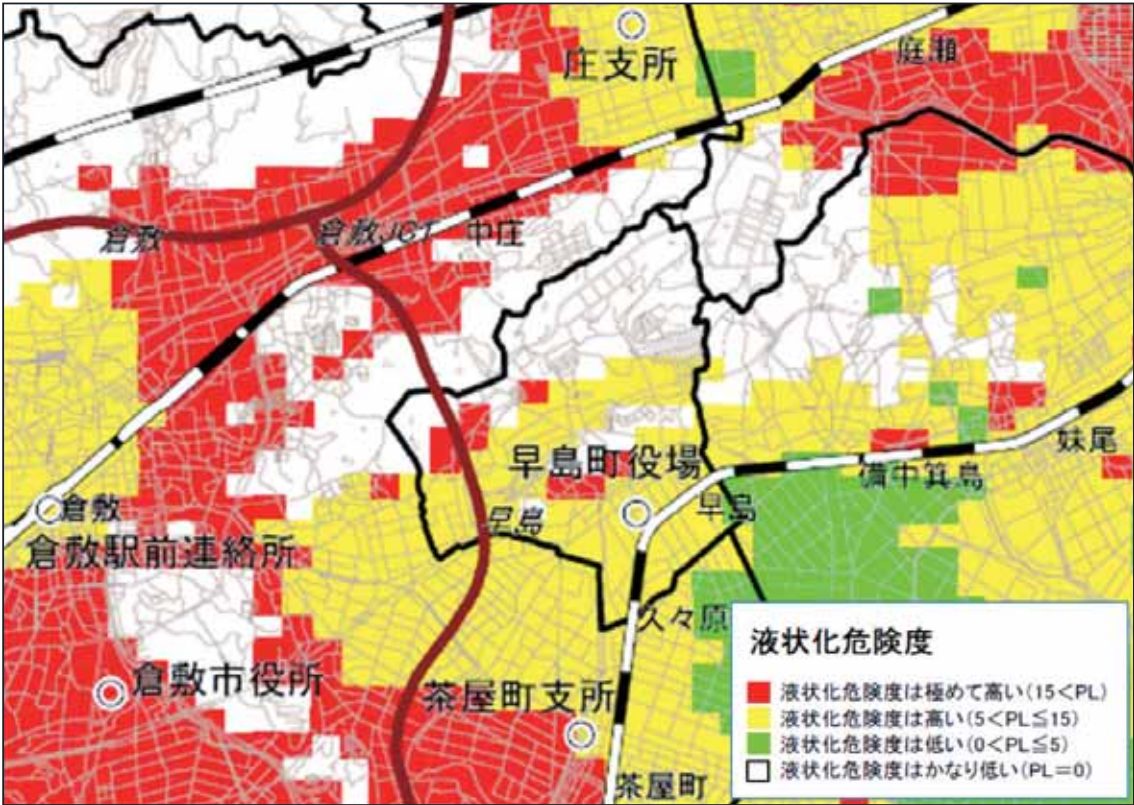
●南海トラフ地震による岡山県の液状化分布図



液状化とは、地震の揺れによって水を含む土が泥水化する現象です。埋立地や河口など水分を多く含んだ砂質の地盤で発生する現象で、砂が噴き出したり、地盤低下や陥没が起きたりして、住宅や水道管、道路、堤防・護岸に大きな被害をもたらします。液状化危険度の高い場所は、古くから多くの干拓や埋立事業が行われてきた県南海岸付近の地域に広く分布していますが、県北や内陸部でも昔の河道付近や盛土の造成地などの地域では、液状化被害に注意が必要です。

●南海トラフ地震による早島町の液状化分布図

南海トラフ巨大地震が発生した場合、主に町南部の干拓地で液状化危険度が高くなっており、一部地域では液状化危険度は極めて高いとされています。



岡山県危機管理課作成